

多様な英語の音声的な 分かりやすさに関する研究



准教授 山崎 大介

研究分野

音声学、英語学、英語教育

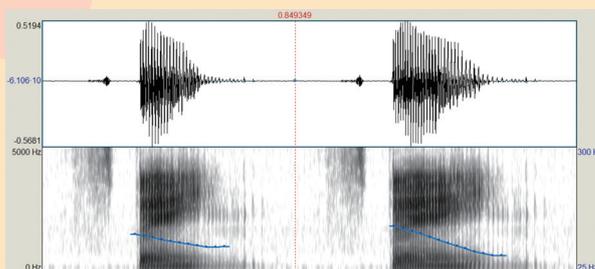
研究内容

それぞれ異なる母語を持つ人々によって話されているさまざまな種類の英語の音声的な「分かりやすさ」について解明する研究を主として進めています。

私の研究のポイント

多様な英語における音声的な「分かりやすさ」とは、F0及び音の持続時間によって影響を受ける要素を含んでいるものだと思います。特に、日本語の母語話者による英語の産出においては、核位置におけるF0の変動幅を広げることや、音の持続時間を引き延ばすことが、発話における他の部分よりも核をさらに卓立させることにつながる大きな可能性があり、「分かりやすさ」をより追求する上で大きな鍵になるであろうと考えています。

REPORT リポート



音声分析ソフトウェアPraatによる分析結果

左側: "Spain"を発音したもの(元の音声)

右側: "Spain"を発音したもの(音声再合成したもの) ※F0変動幅及び音長を拡張

Praatについては以下を参照

Boersma, P. and Weenink, D. (2015). Praat: doing phonetics by computer (Version 5.4.05) [Computer software]. Retrieved February 18, 2015, from http://www.fon.hum.uva.nl/praat/download_win.html